

令和3年度 第3回学校運営協議会 定時制部会 要旨

日時・場所 令和4年2月16日(水) 18時～ 大会議室

学校運営協議会委員 (順不同 敬称略)

味岡 知行	(味岡刃物製作所 代表 伝統工芸士)
奥野 浩史	(奥野晴明堂 代表取締役社長 伝統工芸士)
丸井 理恵	(堺市立旭中学校 校長)
東谷 瑞恵	(後援会 実行委員 代表)
中野 泰三	(大阪大谷大学 入試広報課 参事)
山本 達也	(人権擁護士)

- 1 准校長挨拶 平野 准校長
- 2 令和3年度 学校評価について(審議) 平野 准校長
  - ・遅刻総数について4298件(昨年度)から2446件(12月現在)に減少した。
  - ・各種資格・検定合格者が56名で一定の成果がみられた。中国語検定に合格した生徒もいた。
  - ・就職内定率100パーセント、就労体験率90パーセントである。
  - ・支援教育委員会の定例化で、生徒が抱える課題の情報集約と指導の共有等を行った。
  - ・全国大会で発表し最優秀賞等を受賞。また、環境大臣賞等も受賞した。
- 3 令和4年度 学校経営計画について(審議) 平野 准校長
  - ・令和3年度のめざす学校像と中期的目標を引き続き掲げるとともに、ICT環境を整備、1人1台端末を教育活動で活用していく。
  - ・目標の肯定値が指標を超えているものは、維持できるように取り組みたい。

※令和3年度学校評価と令和4年度学校経営計画について、ご承認いただいた。

- 4 学校教育自己診断について 吉田 教頭
  - ・生徒向け「命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会が多い」の肯定率が高いのは、外部講師を招いて助産師による「いのちの授業」や薬物乱用防止講習会等の成果である。
  - ・保護者向け「先生は保護者の話をよく聞いてくれる」「先生は他の人に知られたくない秘密を守ってくれる」等が肯定率100パーセントである。
- 5 今年度の取り組みについて
  - ・今年度、退学者数が2名のみであり非常に少ない。
  - ・体験入学について例年を超える多数の中学生、保護者等が参加した。
  - ・学校斡旋就職希望者には全員の教員による面接指導等を行った。内定率100パーセント。2名の進学希望者も進学先が決定した。
  - ・いじめアンケート等の結果について、いじめ事象はなかった。
- 6 その他 保田 教諭
  - ・東北支援の様子が毎日新聞に大きく取り上げられた。
  - ・「グッドライフアワード」環境大臣賞、「気候変動アクション」環境大臣賞 受賞。
  - ・毎日地球未来賞 受賞。環境について被災地支援と一緒に続けていきたい。

(委員から)

- ・生徒が楽しみを感じられる学校であり、人づくりに取り組んでいる学校であると認識している。
- ・学校選択が多様化するなかで、定時制高校もその選択肢の一つであると考えている。
- ・生徒に寄り添い、関わっていただき、生徒は充実した日々を送ることができた。感謝の気持ちでいっぱいである。
- ・就職率100%であることや、ゆめチャレなどの地域連携の取り組みは、本校のアピールポイントになる。
- ・長年積み重ねてきた教育計画に則って、教育活動を進めていただけるとよいと思う。
- ・給食の喫食率を上げ、給食が継続できるように取り組んでいただきたい。
- ・生徒の諸活動について、市民に向けた発表の場などがあれば、生徒のやりがいや達成感につながるのではないかと。

以上